

学校だより

NO.19

2024(令和6)年9月26日

伊賀市立西柘植小学校

発行責任者 里田雅彦

全国学力・学習状況調査の結果より①

4月に6年生を対象に実施した全国・学力状況調査の結果についてお知らせします。本年度、国語・算数の2教科について実施しました。調査からみえてくる本校の子どもたちの現状についてお伝えします。

○ 学力調査結果(全国と比べて)

◇ 国語:「上回っている」 ◇ 算数:「上回っている」

*「上回っている」⇒本校の正答率が、全国正答率に対して5%以上

領域別においては以下の通りです。(全国と比べて)

領域	国語	領域	算数
話す・聞く	やや上回っている	数と計算	上回っている
書く	上回っている	図形	上回っている
読む	上回っている	測定	
言葉	上回っている	変化と関係	上回っている
		データ活用	上回っている

*「上回っている」⇒全国正答率に対して+5%以上

「やや上回っている」⇒全国正答率に対して+2%以上~+5%未満

【結果から分かった本校の子どもたちの強み(○)と弱み(▲)】

『国語』

話す・聞く

▲資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。(オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する。)

書く

○目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることができる。(文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。)

○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(文章の空欄に入る内容を、取材メモを基にして書く。)

読む

○人物像を具体的に想像することができる。(話し合いの様子で、物語の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する。)

▲登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。（「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして適切なものを選択する。）

言葉

▲学年別漢字配当表に表示されている漢字を文の中で正しく使うこと。（「競技」）

『算数』

数と計算

○数量の関係を口を用いた式に表すことができる。（はじめに持っていた折り紙の枚数を口枚としたときの問題場面を表す式を選ぶ。）

○除数が小数である場合の除法の計算をすることができる。（ $540 \div 0.6$ ）

図形

○直方体の見取り図について理解し、かくことができる。（作成中の直方体の見取り図について、辺として正しいものを選ぶ。）

○直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解している。（円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ。）

▲角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できる。（五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く。）

変化と関係

○速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できる。（3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く。）

▲道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。（家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる2人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。）

データの活用

○簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。（示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く。）

▲示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できる。（示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。）

次号では、「全国学力・学習状況調査の結果より②」として、学習状況（児童質問紙）の結果をお知らせします。また、調査結果をふまえた学校としての今後の取組についてもお伝えします。